

第30回県民俗芸能大会を開催し、また第1回県民謡まつりを開催した。一方文化財保護強調週間(11月1日～7日)中は県庁屋上広報板による啓発を行い、文化財防火デー(1月26日)にはチラシを作成し配布した。

さらに、昭和45年度に発行した文化財読本及び指導の手引きの改訂版を発刊し、文化財の保護に対する県民の理解を高めた。

第2節 文化活動の促進

1 文化振興のための条件整備

(1) 文化行政の推進

① 市町村文化行政担当者会議

ア 日時 昭和55年5月14日
 イ 会場 福島県杉妻会館
 ウ 参加者 120名
 エ 内容

- (ア) 文化行政重点施策の概要
- (イ) 文化課及び県文化センター事業説明

② 芸術文化懇談会

本県文化の将来への発展のために出席者より提言を求め、県民文化の振興並びに県文化行政推進の参考とした。

ア 美術部門

(ア) 日時 昭和55年9月11日
 (イ) 会場 県庁西庁舎第3会議室
 (ウ) 懇談事項 「美術文化の振興について」
 (エ) 出席者
 中野 蒼穹 齋藤 正夫 若松光一郎
 渡辺 良雄 梅宮 英亮 神野 忠和
 照井久良人 増田 忍石 高橋良一郎
 渡辺 到源 八木沼晃汀 高橋 哲夫
 齊藤 堯生

イ 文学部門

(ア) 日時 昭和55年9月25日
 (イ) 会場 ホテル・サンルート福島
 (ウ) 懇談事項 「本県文学振興のために」
 (エ) 出席者
 鈴木 満 三谷 晃一 阿久津善治
 藤村多加夫 藪内喜一郎 三橋 正雄
 今泉 壮市 佐藤 光 川村 重和
 高橋 啓夫 高橋八重子 岡村 史夫
 天城南海子 石川日出雄 河田 亨

(2) 指導者の育成

① 芸術セミナー

地域文化活動を推進指導する実作家・実活動家を対象として、実技・実作を中心に地域文化活動を推進するに必要なことがらについて研修を行い、その資質向上の機会を提供する目的で実施しているもので、芸術7部門について県内7地区で開催した。

ア 期日・会場・参加者等

部門	期 日	場 所	参加者数	内 訳
文学	5月22日～24日	田島町中央公民館	39名	小説6名、詩3名、短歌16名、俳句14名
舞踊	6月26日～28日	いわき市文化センター	73名	
絵画	7月24日～26日	棚倉町中央公民館	61名	日本画18名、油絵28名、版画15名
彫刻	7月31日～8月2日	福島女子高校	31名	
演劇	8月21日～23日	会津若松市文化福祉センター	57名	
工芸	9月18日～20日	相馬市中央公民館	44名	陶芸16名、紙工芸20名、七宝焼8名
合唱	11月6日～8日	郡山市富久山公民館	57名	(参加者合計 362名)

イ 内 容

- (ア) 講義及び実技を基にした研修
- (イ) モデル演奏、演技を基にした研修
- (ウ) 地域の文化活動に関する研究協議

ウ 講 師

- (ア) 文 学
 小説 安齋宗司(第19回県文学賞受賞)
 詩 村野井幸雄(福島県現代詩人会理事)
 短歌 大内興五郎(福島県歌人会会長)
 俳句 竹谷しげる(福島県俳句作家懇話会副会長)
 講話 三谷晃一(福島県現代詩人会会長)
- (イ) 舞 踊
 長沢トシエ(福島県民踊指導者連絡協議会幹事長)
 鈴木 武子(福島県民踊指導者連絡協議会副会長)
 篠田 年子(会津短期大学講師)
- (ウ) 絵 画
 藁谷 耕人(日本美術院特待)
 大山 美信(一陽会会員)
 福田 利秋(県展運営委員)
- (エ) 彫 塑
 細井 良雄(二科会会員)
- (オ) 演 劇
 演出・演技 増見 利清(俳優座演出家)
 メーキャップ 中居善四郎(三善メーキャップ研究所長)
- (カ) 工 芸
 紙工芸 福田三恵子(県展審査員)
 陶 芸 田代清治右衛門(第15代相馬駒焼窯元)
 七宝焼 水落 侑子(日本七宝協会会員)
- (キ) 合 唱
 辻 正行(日本合唱指揮者協会理事)
 有村 祐輔(日本合唱指揮者協会理事)
- エ モデル上演団体
 (ア) 舞 踊
 いわき市日本民踊協会植田支部
 (イ) 演 劇
 劇団「おおじか」(猪苗代町)
 (ウ) 合 唱